

第3期「日野人げんき！」プラン

# 平成29年度進捗状況評価報告



日野市健康福祉部健康課

## 【第3期「日野人げんき！」プランについて】

設定期間：平成28年度～平成32年度

≪目的≫ **健康寿命延伸のための取り組みの推進**

〔取り組みの方向〕 **ヘルスケア・ウエルネス戦略**

上記を掲げ大目標1～8を設定

大目標1～4については本プランで推進。

大目標5～8については他の部門の事業・計画により推進。

大目標の下に中目標を設定し、中目標に対する進行管理を行います。

## 【平成29年度評価の方法について】

・評価体制：『主管課評価』→『庁内評価会議』→『評価推進委員会』の3段階で実施。

『主管課評価』 取り組みを担当している課が評価

『庁内評価会議』 「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づき庁内で評価  
庁内評価メンバー 男女平等課長、保険年金課長、都市計画課長、  
庁内生活福祉部長、保育課長、中央公民館長、健康課長

『評価推進委員会』 「日野人げんき！」プラン 評価実施要綱に基づいた構成メンバー  
(1) 公募による市民代表3名  
(2) 医師会、歯科医師会、薬剤師会が推薦する者3人以内  
(3) 日野市職員3人以内…健康福祉部長、子ども部長、教育部長

・評価の基準：下記5段階で設定

「達成」 指標が10割または完全に達成されている

「順調」 指標が約8割達成、または順調に進んでいる

「おおむね順調」 指標が約5～6割達成、進んでいる

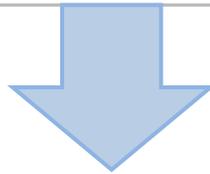
「一部見直し」 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要

「全面見直し」 全面的な修正を要する

# 平成29年度評価内容

## 主管課評価

- ・主管課が本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・主管課での評価結果は16の中目標に対し「達成」・・・1、「順調」・・・5、「おおむね順調」・・・10  
平成28年度に比べ「達成」「順調」の評価が増えている。（後ページ【参考資料】参照）
- ・数値目標の設定に一般アンケートの結果を用いた目標設定をしている項目では指標に対する実績数値が出せないため、取組み事業の受診者数などの実績数やこれに関連する数値を出し評価につなげた。



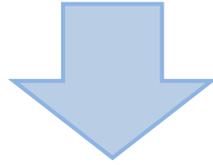
## 庁内評価会議

- ・上記「主管課評価」をふまえ、本プランで設定した数値目標（健康指標）を含め中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・庁内評価会議での評価結果は 16の中目標に対し「順調」・・・6、「おおむね順調」・・・10  
平成28年度に比べ「一部見直し」はなくなり、「順調」「おおむね順調」となっている。
- ・全体的にはそれぞれの取組んでいる方向性や工夫に対しては良い評価が得られているが受診率の伸び悩みなど課題も多く周知方法の工夫など部分的な改善が求められている。



裏ページへ

つづき



## 評価推進委員会

- ・上記「主管課評価」「庁内評価会議」をふまえ、中目標の達成状況についての評価を行った。
- ・「評価推進委員会」をもって平成29年度の評価結果とし、市民へ公表していく。
- ・評価推進委員会での評価結果は16の中目標に対し「順調」・・・7、「おおむね順調」・・・9

去年の評価において「実績をもとに評価をするのが難しい」との指摘を受け、実績提示の工夫や参考資料として市で実施した検診の受診率または受診の伸び率を提示することで評価に取り組んでもらった。依然評価しにくい部分もあるが全体的には高い評価結果となる。

今後、平成30年度下半期で本プランの中間評価として市民3000人へのアンケートを実施予定。結果数値を使い中間評価・改善に取り組んでいく。

- ・「評価推進委員会」の結果をもって各主管課にフィードバックしています。本評価を含め主管課で検討し、今後の取り組みや改善につなげていきます。
- ・「評価推進委員会」の各中目標の結果は次ページ『第3期「日野人げんき！」プラン平成29年度評価概要（評価推進委員会）』を参照してください。

# 第3期「日野人げんき！」プラン平成29年度評価概要（評価推進委員会）

・評価の基準：下記5段階で設定  
 「達成」 指標が10割または完全に達成されている  
 「順調」 指標が約8割達成、または順調に進んでいる  
 「おおむね順調」 指標が約5～6割達成、進んでいる  
 「一部見直し」 指標が約4割程度の達成、または一部の修正が必要  
 「全面見直し」 全面的な修正を要する

大目標	中目標	中目標への評価	指摘事項	今後の取り組み
1、健康づくりを推進します	1 妊娠出産子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します	順調	維持継続	維持継続
	2 生活習慣病予防（国保特定健診・特定保健指導）を推進します	概ね順調	国保加入者40歳以上の特性を把握したり、周知方法の工夫または目標設定の見直しが必要ではないか	年代別での受診者分析の検討、受診しないことの危機について周知。受診勧奨の効果確認し今後の検討へ。
	3 運動による健康づくりを推進します。	順調	若年層の運動離れの対策が不足していると思う。運動習慣のない人への働きかけを工夫してもらいたい。	まずは運動習慣のない人に周知に取り組む。主に健康課事業の来場者に周知展開。
	4 喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組めます	概ね順調	国保特定健診受診者の喫煙者に対して禁煙の周知啓発を徹底してもらいたい。	医師会等への禁煙周知実施、国保特定健診受診者へ啓発の充実。がん検診での教育・指導の実施検討。
	5 心の健康づくりを充実します	概ね順調	周知啓発は引き続き必要。精神科医を巻き込んだ取り組みや小中学校での教育活動を行ってみるのはいかがでしょうか。	東京都自殺対策教育をH30年度で試行予定。専門職も含めた検討へ。H30のひのイキのテーマは「休養」
	6 健康づくり推進員・健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します。	概ね順調	比較的若い世代を取り込んでいくことが必要。その視点を持って事業を展開してほしい。	健康づくり推進員の若返りは継続検討。健康体操サポーターはH30年度募集、育成方法は検討継続。
2、がん対策を推進します	1 科学的根拠に基づくがん予防を推進（1次予防）します。	概ね順調	胃がんリスク検査は、対象枠の拡大を図ったが受診率は微増。この原因を分析することで、対象者へのアプローチ方法を工夫する必要がある。	H30年度に実施する中間アンケートで分析、アプローチ方法を含め検証に取り組む
	2 がんの早期発見を推進（2次予防）します。	概ね順調	若年層が働いていても気軽に健診を受けられるよう、夜間、休日等受診機会の拡大に取り組む必要がある	受診率向上のため受診勧奨の対象者拡大。夜間休日対応の検診については医師会との協議を検討。
	3 がんの健康教育およびがんの普及・啓発活動を推進します	順調	今後はその内容が問われるか。学校現場との意見交換を重ね、がん教育が浸透するよう働きかける必要がある。	学校現場との意見交換を継続し内容の充実を図る。
	4 がん患者やその家族への支援をすすめます	大目標4「住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します」により評価		
3歯とお口の健康づくりを推進します	1 【乳幼児期】歯みがきや噛む習慣を身につけ、むし歯のない健康なお口を育てます。	順調	フッ素の使用法について正しい利用法の周知徹底が必要である。	フッ素の使用方法はパネル展示で周知。1歳6か月健診時のむし歯ありは3歳児健診でもフォローへ。
	2 【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし歯と歯周病を予防します。	順調	幼児、小学校での歯科教育の取り組みが順調であったことが、中学生に引き継がれていくよう期待したい。	まずは家庭での取り組みにもつなげ受診勧奨、治療の必要性、歯の健康を保護者に周知
	3 【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に健診を受診し自己管理方法を取得することでお口の健康および全身の健康を守ります。	概ね順調	手紙などで定着を促進することも大切である。歯科医への受診についてのPRも図る必要がある。	かかりつけ医のポスター見直しなど周知について検討していく
	4 【高齢期（障害含む）】自分に合った口腔ケアを実践ししっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます	概ね順調	システムとしては、この3年間で作り上げられてきてはいるが、「摂食嚥下障害」の認知度は、未だ高いとは言えない状況にある。	今後システムを展開していくために取り組む地域を徐々に増やしていく。
4住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します	1 総合的な健康情報の発信の体制を確立します	概ね順調	情報発信の工夫が必要。SNS（フェイスブック）の運用は、要検討。評価しやすいよう目標設定をいくつか加え実績提示の工夫を要する。	中間アンケートを使って「ひのイキ」「フェイスブック」などの効果検証に取り組む
	2 医療と介護の連携を推進します	順調	医療と介護の連携深化のため、「在宅療養支援課」を新設。「在宅療養体制構築のための基本方針」を策定中、今後の展開に期待したい。	本事業は、在宅療養支援課に移管予定。必要に応じて関係各課と連携して事業展開を進めていく。
	3 地域連携による認知症対策を強化します	順調	認知症サポーターは増えていると実感。オレンジリングも見かける。連携は大切と感じるため、引き続き支援体制を固めてほしい。	認知症サポーター養成は対象拡大と活躍の場の創出に取り組む。認知症支援体制は関係機関の連携を強化。

< 評価詳細 >

# 平成29年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価（詳細）

## 大目標1:健康づくりを推進します

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

### 「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

No.	中目標	担当者	主管課評価					庁内評価会議		評価推進委員会		今後の取組み・改善	
			年度目標	H29年度		実績	達成の評価	達成状況と課題	H29年度		H29年度		
				H29目標	H29実績				達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題
(1)	妊娠・出産・子どもの健康診査や予防接種及び相談体制を充実します  第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P 23～	健康課	1	妊娠期からの支援を必要とする人が、切れ目のない支援を受けた数値を100%にします。	100%	99%	妊婦全数面接では妊娠届出者妊婦1,489人のうち、妊婦面接は1,481人に実施した。未面接8人に対しては、面接できない状況について把握を行っている。その理由が長期の里帰りや、転出など面接不可の理由が明確であり、必要な面接はおおむね実施できた。以上の理由から実績99%の状況となっている。	概ね順調	健診受診率は平成28年度と比較し乳健、1.6健は微増、3健は微減傾向にあり、目標未達成ではあるが、東京都全体では高水準で経過している。	概ね順調	相談体制含め全体的に順調。また、全数面接によるハイリスクケースへの早期介入ができてきている。	目標と実績を考慮すると順調といえると思う。切れ目のない子育て支援の基礎となる取組みであるため、現在の仕組みを継続できる環境を整えるとともに、リスクを抱える世帯の早期発見から早期対応と、学齢期までの継続的な支援体制を仕組みとして構築する必要がある。	関係各課と協議を重ね教育、子ども、健康の部門が連携して切れ目なく取り組んでいける体制整備に取り組む。
			2	乳幼児健康診査の受診率を98%以上に保ちます。	98%	97%	H27年度からは転入者も含めた適正な対象者とし、転出や国外滞在などの理由で97%の状況把握となっているが未受診者の全数把握に取り組んでいる。 3～4か月健診 対象者数1,505人 受診者数1,447人 1歳6か月健診 対象者数1,599人 受診者数1,559人 3歳児健診 対象者数1,586人 受診者数1,542人						
			3	接種率の低い二種混合第2期の接種率を80%にします。	74%	78%	対象者へ年度初めに勧奨通知を送付。 対象者1488人、接種者1164人						
			4	子ども家庭支援センターとの連携により、健診未受診児の状況を全数把握する。	100%	99%	子ども家庭支援センターとの連携強化会議年6回実施し情報共有に取り組んだ。29年度に状況把握対象の未受診児数と把握数。 3～4か月健診 未受診児32人のうち32人を把握。 1歳6か月健診 未受診児46人のうち45人を把握。 3歳児健診 未受診児40人のうち40人を把握。 未受診児の全数把握については、1人が調査中であり、ほぼ全数把握できた						

# 平成29年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価（詳細）

## 大目標1:健康づくりを推進します

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

No.	中目標	担当者	主管課評価					庁内評価会議		評価推進委員会		今後の取組み ・改善		
			年度目標	H29年度		実績	達成の評価	達成状況と課題	H29年度		H29年度			
				H29目標	H29実績				達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題	
(2)	生活習慣病予防（国保特定健康診査・特定保健指導）を推進します  第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P 25～	健康課	1	国保特定健康診査の受診率を平成29年度までに60%にしていく。	60%	47.8%	個別受診勧奨（ハガキ、電話）を実施（保険年金課）し、さらに40～64歳の希望者全員に集団健診を実施（健康課）した 対象者数26,035人 受診者数12,448人 未受診の理由に多忙、ニーズが低いなどが考えられる	概ね順調	全体として様々な工夫をして、取り組みを行っているが、目標を達成できていない。  特定保健指導開始から9年が経過し新鮮さがなくなっていることも実施率低下の要因と思われる。	概ね順調	様々な工夫をしていることは評価できる。ハガキ及び電話による受診勧奨は、確実に効果を上げているが健診への周知啓発が必要。	概ね順調	様々な工夫をしていることは評価できるが、実績につながっていない。国保加入者40歳以上の特性を把握したり、周知方法の工夫または目標設定の見直しが必要ではないか	・目標に少しでも近づける手段として年代別での受診者分析もすべきか検討する ・受診しないことの危機について今以上の周知を行っていく ・現在の受診勧奨の効果を確認し今後の方向性を探る。
			2	国保特定保健指導の実施率を平成29年度までに60%にしていく。	60%	H31年1月確定予定	実施率向上のために集団面接を取り入れるなど工夫をした。 H28年度の最終実施率は20.2%（対象1,291人、終了者数261人） 指導を受けない人の理由として過去に受けた、ニーズが低い、忙しいが聞かれている							
			3	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率を25%以上にしていく。	25%	H30年11月確定予定	そのために保健指導で集団面接を取り入れるなど内容の充実に取り組んだ。また、特定健診全受診者へ生活習慣病のパンフ配布による情報提供、予防講演会の開催をした。 H28年度の減少率は24.0%（該当者3,041人 リスク下がった人730人）							

# 平成29年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価（詳細）

## 大目標1:健康づくりを推進します

「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

No.	中目標	担当者	主管課評価					庁内評価会議		評価推進委員会		今後の取組み・改善	
			年度目標	H29年度		実績	達成の評価	達成状況と課題	H29年度		H29年度		
				H29目標	H29実績				達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題
(3)	運動による健康づくりを推進します	健康課 文化スポーツ課	1 「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上」を1年実施している人の割合を60%にしていく。	54.0%	46.7%	そのために「健康サポートルーム輝」の紹介と運動実施の勧奨を行ったH29年度「健康サポートルーム輝」の新規登録者数は418人、延べ利用者数は16,226人から16,462人であった。	川順調	1,特定健診対象者へ運動の勧め「健康サポートルーム輝」案内リーフレットを送付。また新規利用者を増やすため、分かりやすい施設案内リーフレットも作成し、配布した。「サポートルーム輝」の利用者数は増加することができたが、運動割合は増加しなかった。引き続き運動の重要性を案内していく。	川順調	「健康サポートルーム輝」の利用者数増加は評価に値する。取組の維持継続が要であり、啓発については直ぐに結果に結びつきにくい、粘り強く対応していく必要がある。	川順調	高齢者の意識の高まりは実感できるが若年層の運動離れの対策が不足していると思う。また、現役世代で2日/週の運動は難しい。運動習慣のない人への働きかけは、もう少し「輝」から他の事業へのつなぎや他部門との連携を仕組みとして確立してもらいたい。	
			2 週1回以上のスポーツ実施率が、都の掲げる世界のトップレベルの70%にしていく。	—	—	①事業内容 ・市が主催する市民体育大会：実績11,441人 ・日常の運動習慣を促進する「ちよこつと散歩会」：実績1,146人 ・スポーツ推進委員による「ちよこつとウォーキング」：実績323人 ・ロープジャンプ小学生大会の開催：実績1,138人 ・トップアスリート3名を招聘した体育の日の「スポーツクリエイションフェスティバル」：実績2,027人 ・市民の森ふれあいホール指定管理による各種運動プログラムの提供：実績3,178名 ②所管する市内各体育施設の年間利用者数：実績682,814人 ③障害者の運動習慣を促進する「障害者スポーツ体験教室」ほか：実績24回開催 ※いずれも昨年度の実績数を上回っている							

第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P27

# 平成29年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価（詳細）

## 大目標1:健康づくりを推進します

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

### 「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

No.	中目標	担当者	主管課評価					庁内評価会議		評価推進委員会		今後の取組み・改善		
			年度目標	H29年度		実績	達成の評価	達成状況と課題	H29年度		H29年度			
				H29目標	H29実績				達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題	
(4)	喫煙のリスクに関する正しい知識の普及・啓発に取り組みます  第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P29	健康課	1	国保特定健診受診者における喫煙率を11.5%にしている。	12.1%	12.0%	健診受診者における喫煙率を減らすために禁煙への周知として特定保健指導やがん検診等の場で啓発活動を行った。	概ね順調	喫煙に関しては、法改正もあったことから、より一層、推進していくべきと考える。 国保特定検診受診者の喫煙者に対しては、禁煙外来をお勧めするぐらいの積極性があっても良いと思う。 小中学校での教育活動が達成できていることは評価できるが教育内容の充実が課題。	概ね順調	喫煙に関しては、法改正もあったことから、より一層、推進していくべきと考える。 国保特定検診受診者の喫煙者に対しては、禁煙外来をお勧めするぐらいの積極性があっても良いと思う。 小中学校での教育活動が達成できていることは評価できるが教育内容の充実が課題。	概ね順調	小中学校での喫煙リスク教育の全校実施が前年度に引き続き達成されたことは評価できる。 国保特定健診受診者の喫煙者に対しては禁煙の周知啓発を徹底してもらいたい。	禁煙について周知実施：医師会、歯科医会、薬剤師会へ禁煙外来のチラシを配布する。 国保特定健診受診者への周知啓発の充実について検討していく。  胃、肺、大腸がん検診にて健康教育または個別指導を実施するか検討する。
			2	市内の小中学校で、がん教育と合わせて、喫煙リスクに対する正しい知識の教育を全ての学校で実施していく。	がん教育をした学校 48% (12校)	100% (25校)	小学校・中学校ともに保健体育の教科書に掲載された禁煙教育を活かして、各学校で原則1時間ずつ授業中に扱った。実施率100%。							
			3	日野市の一日あたりの喫煙本数を毎年0.04本減らしている。	たばこ税からの喫煙本数 3.12本	2.89本*1	胃・肺・大腸がん検診会場において、禁煙希望の方に対して個別相談の機会を設けている。また、通年実施している妊婦面接にて、喫煙者に対する禁煙支援、情報提供を行っている。 *1：H29年度データを使用。							
(5)	心の健康づくりを充実します  第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P31	健康課	1	睡眠で十分休養がとれていない市民を20%に減らしていく。	国保健診の間診票から「休養十分取れてない」人を集計 20.8%	23.8%	睡眠・休息については例年通り、ゼミナールでの講話の他、特定健診での情報提供、知識の波及効果を目的に健康サポーターに対する健康教育も実施した。また、特定健康診査受診者に対して、睡眠と休息に関する啓発用のチラシを配布した。	概ね順調	目標数値について昨年度に比較し数値は微増、数年にわたりほぼ横ばいの状態である。  今後も健（検）診や、健康事業などで、睡眠や休息についての知識の普及を図り、数値改善を図っていく他、取り組み内容についてさらなる検討を図っていく。	概ね順調	周知啓発は引き続き必要。昨年度より、取り組みが具体的に変わったと感ずるため、概ね順調。	周知啓発は引き続き必要である。指標の数値を下げることに直接効果を発揮する施策や事業があるのか疑問。 精神科医を巻き込んだ取り組みや小中学校での教育活動を行っているのはどうか。	心の健康の一環としてH30年度は東京都教育庁推進の自殺対策『SOSの出し方に関する教育』が日野市でも試行予定。(Eメール保健師で試行)医師など専門職も含めた検討をしていく。  H30下半期で「休養」をテーマにひのイキ発行予定	

# 平成29年度 第3期「日野人げんき！」プラン評価（詳細）

大目標1:健康づくりを推進します

「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

No.	中目標	担当者	主管課評価					庁内評価会議		評価推進委員会		今後の取組み・改善		
			年度目標	H29年度		実績	達成の評価	達成状況と課題	H29年度		H29年度			
				H29目標	H29実績				達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題	
(6)	健康づくり推進員、健康体操サポーターによる市民の健康づくりを推進します。	健康課	1	健康づくり推進員の新規人数を増やしていく。	健康づくり推進員の新規人数 5人	4人	そのために広報、カラー刷りのチラシ配布にて募集。その結果推進員による勧誘活動により新規登録につなげた。	概ね順調	健康づくり推進員は4名が新規登録した。ひごろの活動からの勧誘により登録につながっている。推進員の高齢化による活動の工夫が課題。	概ね順調	高齢の推進員については当該世代の健康づくりのリーダーとして役割は大きいものと評価する。年齢構成については偏りなく、各世代ともバランスよく確保できるのが望ましい。	概ね順調	健康づくり推進員と健康体操サポーターは、市が進める「諸力融合」に基づく事業であることから有効性が高い事業であると考えられる。比較的若い世代を取り込んでいくことが必要。その視点を持って事業を展開していただきたい。	健康づくり推進員の若返りについて引き続き検討する。健康体操サポーターはH30年度に募集予定。健康体操サポーターの育成方法については検討継続する。
			2	健康体操サポーターの新規人数を増やしていく。	健康体操サポーターの新規人数 —	—	そのために広報、チラシにて募集。その結果候補生として登録に至った。「健康体操サポーター候補生（第7期）」として、3名が登録							

第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P33

## 大目標 2 : がん対策を推進します

目標1 がんによって亡くなる人を減らします

目標2 がんになってもみんなが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指します

### 「評価の基準」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価しま

No.	中目標	担当課	主管課評価				庁内評価会議		評価推進委員会		今後の取組み・改善
			取り組み内容		H29年度		H29年度		H29年度		
			H29目標	H29実績	実績	年度評価	達成状況と課題	年度評価	指摘事項および課題	年度評価	
(1)	科学的根拠に基づくがん予防を推進（1次予防）します	健康課	1 がんに関する生活習慣の取り組み	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     たばこ・運動・食生活は「大目標1健康づくりを推進します」「大目標8食育を推進します」参照                 </div>		概ね順調	胃がんリスク検査については、対象年齢を、40歳のみから40歳及び50歳に拡大。	概ね順調	胃がんリスク検査の受診率は目標値には達していないが、わずかに向上している。勧奨の工夫が必要。	概ね順調	胃がんリスク検査は、対象枠の拡大を図ったが受診率は微増にとどまっている。この原因を分析することで、対象者へのアプローチ方法を工夫する必要がある。
			・たばこ対策や、運動、食生活、飲酒等、がん予防に関する生活習慣の施策を展開します								
			2 ウイルスの感染に起因するがんに対する取り組み	肝炎ウイルス検診受診率							
			B型・C型肝炎ウイルス検診の受診率向上	46.0%	H28年度452人 H29年度464人						
第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P35～	科学的根拠に基づくがん予防を推進（1次予防）します	健康課	・B型・C型肝炎ウイルス陽性者の重症化予防	100%	100%	陽性者への受診勧奨確認	確実に医療機関につながるために対象者への勧奨通知と連絡をとって受診確認をした 対象者1名 実施者1名	概ね順調	胃がんリスク検査について目標値を達成できなかった。	概ね順調	胃がんリスク検査について目標値を達成できなかった。
			・胃がんリスク検査の受診率向上	25.5%	21.7%	胃がんリスク検査受診率	年度当初のがん検診案内及び10月には再勧奨を行った。 対象者5,6696名 受診者1,230名 この数年数字は微増。検査の性質上、過去に受診した人は受診ができないためか。				

## 大目標 2 : がん対策を推進します

目標1 がんによって亡くなる人を減らします

目標2 がんになってもみんなが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指します

### 「評価の基準」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価しま

No.	中目標	担当課	主管課評価					庁内評価会議			評価推進委員会		今後の取組み・改善	
			取り組み内容	H29年度		H29年度			H29年度		H29年度			
				H29目標	H29実績	実績	年度評価	達成状況と課題	年度評価	指摘事項および課題	年度評価	指摘事項および課題		
(2)	がんの早期発見を推進（2次予防）します  第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P44～	健康課	1 科学的根拠に基づいたがん検診の実施	がん検診の実施率	100.0%	100.0%	・国の指針に基づいたがん検診を実施	概ね順調	各検診において、受診率向上を目指し、ターゲット層を決め、受診勧奨通知を送付。  今年度は若年層へ勧奨通知を送付したためか受診者数は伸びなかった	概ね順調	あえて関心の低い若年層をターゲットとするなど勧奨を工夫していることは評価できる。検診の方法や勧奨方法のさらなる工夫は必要	概ね順調	ターゲットを変えてみるなど努力されていると思われる。若年層では、ほとんどの人が働いているため、働いていても気軽に健診を受けられるよう、駅前での実施や夜間、休日等の実施の拡大などに取組む必要がある	受診率向上のため受診勧奨の年齢層を広げて対象者拡大をする。夜間休日対応の検診については医師会との協議を検討していく。
			2 がん検診の質の向上	大腸がん精検受診率	52.2%	未把握（H31年度に確定）	・大腸がん検診では医療機関と要精検者へ受診アンケートを配布及び電話勧奨にて実態把握。H27年度受診者数23,724人、うち要精検者数1,803人 受診アンケート配布数 601通  ・精検の重要性を伝えることで精検受診率をさらにあげるため受診者全員へ配布するリーフレットを作成。  ・精検結果を確実に把握できるルートの構築：精検結果が市へ到達するルートの新構築に向け検診実施医療機関への説明会開催、精検受診の重要性を当事者へ説明してもらう、精検結果専用書式の設置により市と医療機関の連携の充実を図った。							
			3 がん検診の受診率の向上	乳がん検診の受診率	19.9%	H28年度 3,799人 H29年度 3,622人	・対象年齢へ無料クーポン券及び受診勧奨通知発送。 無料クーポン発送数 5,969通 その他勧奨通知 4,492通 ・乳幼児健診の保護者対象にがん検診リーフレット配布 ・東京都と共催でピンクリボンキャンペーン開催 ・乳がん触診モデルを乳幼児健診会場に設置し教育を実施							
			乳がん検診の受診率を上げる											
			子宮頸がん検診の受診率を上げる	子宮頸がん検診の受診率	17.8%	H28年度 3,540人 H29年度 3,368人	・対象年齢へ無料クーポン券及び受診勧奨通知発送。 無料クーポン発送数 5,371通 その他勧奨通知 3,119通 ・乳幼児健診の保護者対象にがん検診リーフレット配布							

## 大目標 2 : がん対策を推進します

目標1 がんによって亡くなる人を減らします

目標2 がんになってもみんなが安心して自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指します

### 「評価の基準」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価しま

No.	中目標	担当課	主管課評価				庁内評価会議			評価推進委員会		今後の取組み・改善	
			取り組み内容		H29年度			H29年度		H29年度			
			H29目標	H29実績	実績	年度評価	達成状況と課題	年度評価	指摘事項および課題	年度評価	指摘事項および課題		
(3)	がんの健康教育およびがんの普及・啓発活動を推進します。  第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P50～	健康課 (教育委員会との連携)	小学生・中学生の頃からのがん教育のさらなる推進を図ります  市内の小学校・中学校におけるがん教育を実施	がん教育の実施率  48% (12校)	100% (25校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野市立病院菊永医師による出前授業を小学校3校に実施した。</li> <li>・夏季休業中に、日野市立小・中学校の教員を対象にがん教育に関する研修を実施し、菊永医師によるがんの出前授業の内容紹介と、日野第一中学校脇本副校長によるがん教育の模擬授業を行い、がん教育を推進する際のポイントと留意点について共有を図った。</li> <li>・3学期に脇本副校長の指導資料及び参考DVDを市内全中学校に配布した。</li> <li>・その他、がん教育については小学校体育の保健、中学校保健体育科保健分野において、小中学校全校で指導している。</li> </ul>	順調	今後も継続し、医療との連携した教育の内容の工夫に努める	順調	小・中学校でのがん教育が100%なのは高く評価したい。内容の充実については工夫の余地あり。 1 - (4) 喫煙の周知啓発と関連させて継続していただきたい。	順調	若年層に指標を当てるなど、日野市として十分な指導事業をしていると考える。今後はその内容が問われてくるのではないかと。学校現場との意見交換を重ね、多くの児童生徒にがん教育が浸透するよう働き掛ける必要がある。	学校現場との意見交換を継続し内容の充実を図る。
(4)	がん患者やその家族への支援をすすめます  第3期「日野人げんき！」プラン冊子 P55		大目標4「住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します」P83～により評価します。										

# 大目標3: 歯とお口の健康づくりを推進します

目標1 歯とお口の健康の大切さを知り、生涯にわたって健口であることを保ちます  
 目標2 予防や治療に向けてみんながかかりつけ歯科医を持ち歯科保健医療サービスを適切に活用します

## 「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価しま

No.	中目標	主管課評価				庁内評価会議			評価推進委員会		今後の取り組み・改善		
		担当課	取り組み内容	H29年度		H29年度			H29年度				
				H29目標	H29実績	実績	達成の評価	達成状況と課題	達成の評価	指摘事項および課題		達成の評価	指摘事項および課題
(1)	【乳幼児期】歯みがきや嘔む習慣を身につけ、むし歯のない健康なお口を育てます  第3期「日野げんき！」プラン冊子 P 59～	健康課	1 1歳6か月児でむし歯のある子どもの歯科受診を支援する	1. 6歳でむし歯ある児の受診率 100%	100%	1歳6か月健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施した受診勧奨数：14人	川順調	むし歯やハイリスク児への取り組みを継続実施し、実績を積み上げ、より良い手法について検討する。フッ素の利用について正しい知識の周知に工夫が必要。また、むし歯のある子だけではなく発生するリスクのある子には、歯科専門職による個別指導を引き続き実施する。	川順調	継続して取り組みに努める。	川順調	実績としてはまず問題ないと思う。ただ、フッ素の使用法はあくまでもひとつの手段として情報提供することが大事で、正しい利用法の周知徹底が必要である。	今後の取り組み・改善 フッ素の使用方法についてパネル展示で周知していく。 1歳6か月健診時むし歯がある子は3歳児健診でもチェックできるよう整備する。 ハイリスク児への対応は継続実施。
			2 3歳児でむし歯のある子どもの歯科受診を支援する	3歳でむし歯ある児 80%	100%	3歳児健診時に歯科医師・歯科衛生士による受診勧奨を実施。受診勧奨数：148人							
			3 ハイリスク児の歯科受診を支援する	ハイリスク児の歯科受診率 100%	100%	健診時、カンファレンスにあがった子（ハイリスク児）に保健師と一緒に受診勧奨を行った。受診勧奨数 2人							
			4 3歳児で仕上げみがきの毎日実施をめざす	保護者の仕上げ磨き実施率 100%	98.0%	健診アンケートから「仕上げ磨きしていない子」を抽出し保護者に直接指導を行った。指導数 31人。この指導により全員が「仕上げ磨き」への認識ができた。							
			5 3歳児でフッ素（歯磨き剤等）を使用して口腔ケアをする	自宅でのフッ素利用率 70%	69.2%	1歳6か月健診時にパンフレット配布によるフッ素の情報提供を実施。3歳時健診時に未使用の場合、利用方法について指導を実施。フッ素の利用は身体への影響を気にする保護者も多い。							
(2)	【学童期】歯とお口の健康づくりの基礎をつくりむし歯と歯周病を予防します  第3期「日野げんき！」プラン冊子 P66～	学校課	1 12歳（小学校6年生）で永久歯にむし歯経験がない子どもを増やす	小6までむし歯ない子 81%	84.5%	学校歯科医による学校での歯磨き指導等に取り組んだ	達成	中学生の未受診者に対する意識づけが課題となる。	川順調	学校による取り組みを高く評価する。	川順調	幼児、小学校での歯科教育の取り組みが順調であったことが、中学生に引き継がれていくよう期待したい。	歯の健康は家庭での取り組みも大事なので、まずは児童・生徒に歯科受診を勧奨する。また、なぜ治療が必要なのか、保健だよりを通して保護者に認識を促す。
			2 中学1年生の要治療者が歯科医院を受診する割合を増やす	中1で要治療＋受診した割合 50%	54.6%	受診勧奨を通知。さらに未受診者へは再通知にとりくんだ。未受診者への、再通知、保護者面談での受診のお願いなどを実施し、中学1年生で要治療者となった子どもが歯科医院を受診した割合が向上した。また、中学1年生に対し、「歯の治療」に関するアンケートを実施し、未受診になるケースを検討した。							

### 大目標3: 歯とお口の健康づくりを推進します

目標1 歯とお口の健康の大切さを知り、生涯にわたって健口であることを保ちます  
 目標2 予防や治療に向けてみんながかかりつけ歯科医を持ち歯科保健医療サービスを適切に活用します

「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価しま

No.	中目標	主管課評価					庁内評価会議			評価推進委員会		今後の取組み・改善			
		担当課	取り組み内容	H29年度		H29年度			H29年度						
				H29目標	H29実績	実績	達成の評価	達成状況と課題	達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題		
(3)	【成人期】かかりつけ歯科医で定期的に検診を受診し自己管理方法を習得することでお口の健康および全身の健康を守ります。  第3期「日野げんき！」プラン冊子 P71	健康課	1	お口の健康診査（歯周病検診）の受診率を上げる	14.5%	10.4%	・検診時の健康教育の充実及び健口手帳を配布。 ・お口の健康診査受診後も、検診時に健口手帳を提示すると引き続き無料で口腔内状態や指導等が記録される。受診者数が2,286人 ・若い世代の受診率が低い。若い世代からかかりつけ歯科医が定着することで、その後の世代の受診率向上にもつながる。	概ね順調	目標設定した受診率が未達成であるため、今後受診率向上に向けた周知方法を検討する。 また、かかりつけ歯科医（定期的に受診している）を持っている方の数値が低いと、定着を促す工夫が必要である。健診時にかかりつけ歯科医の重要性の教育や健口手帳の活用を推進し定着を促す。	概ね順調	成人への呼びかけの難しさを感じる。かかりつけ歯科医の定着の拡大を歯科医会と連携し進められたい。	概ね順調	健口手帳の普及、活用に期待する。歯科医からのアプローチ「その後いかがでしょうか？・・・」のような手紙などで定着を促進することも大切である。歯科医への受診そのものが、未だハードルが高いイメージがある。この部分のPRも図る必要があるように思える。	かかりつけ医のポスター見直しなど周知について検討していく	
			2	お口の健康診査（歯周病検診）の受診者がかかりつけ歯科医に定着する割合を上げる	-	21.8%	・健診期間を6か月間から10か月に延長し健診を実施した。また、情報発信としてひのイキで「歯とお口の健康」をテーマに掲げ定期健診の重要性について周知を図った。 ・健康教育を充実し、健口手帳を活用することで、受診者のさらなるかかりつけ歯科医の定着、口腔内の健康維持を図った。	概ね順調	摂食嚥下障害を有する方に対し適切な支援につなげる仕組みを作るため、引き続き日野市摂食・嚥下機能支援推進協議会で検討を行った。 【取り組み内容】 ・摂食嚥下機能支援連携システムを構築した。 ・システム内に使用するツールとして「アセスメントシート（解説）」、「チェックリーフレット」を作成した。 ・市民啓発用薬局シール作成し、市内薬局に掲示を依頼した。（市内薬局74か所） ・市民向け講演会（出張講座）を包括支援センターと連携しふれあいサロン等で実施した。 ・市民や介護事業者等に摂食嚥下について周知するため、市民向けホームページを作成した。	概ね順調	協議会で3年間かけ検討を行い、連携システムを作り上げた。今後は、特定の地域で試験的に運用を開始し、精度を高め、全地域での運用を目指す。	概ね順調	連携システムの定着について関係機関と協力して進めたい	概ね順調	いろいろな取り組みをされていて引き続きお願いしたい。システムとしては、この3年間で作り上げられてきてはいるが、「摂食嚥下障害」の認知度は、未だ高いとは言えない状況にある。
(4)	【高齢期・障害のある方も含む】自分にあった口腔ケアを実践し、しっかり噛める歯を保ち食事を楽しむことをすすめます。  第3期「日野げんき！」プラン冊子 P78～	健康課	飲み込み機能低下者への支援体制を展開する、また地域でのフォローできる体制づくりをする。	-	-	-	-	摂食嚥下障害を有する方に対し適切な支援につなげる仕組みを作るため、引き続き日野市摂食・嚥下機能支援推進協議会で検討を行った。 【取り組み内容】 ・摂食嚥下機能支援連携システムを構築した。 ・システム内に使用するツールとして「アセスメントシート（解説）」、「チェックリーフレット」を作成した。 ・市民啓発用薬局シール作成し、市内薬局に掲示を依頼した。（市内薬局74か所） ・市民向け講演会（出張講座）を包括支援センターと連携しふれあいサロン等で実施した。 ・市民や介護事業者等に摂食嚥下について周知するため、市民向けホームページを作成した。	概ね順調	協議会で3年間かけ検討を行い、連携システムを作り上げた。今後は、特定の地域で試験的に運用を開始し、精度を高め、全地域での運用を目指す。	概ね順調	連携システムの定着について関係機関と協力して進めたい	概ね順調	いろいろな取り組みをされていて引き続きお願いしたい。システムとしては、この3年間で作り上げられてきてはいるが、「摂食嚥下障害」の認知度は、未だ高いとは言えない状況にある。	連携体制は整ってきた。今後システムを展開していくために取り組む地域を徐々に増やしていく。

**大目標4: 住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します  
(地域包括ケアシステムの構築)**

「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

No.	中目標	主管課評価					庁内評価会議			評価推進委員会		今後の取組み・改善	
		担当課	取り組み内容	H29年度		実績	H29年度		H29年度				
				H29目標	H29実績		達成の評価	達成状況と課題	達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題
(1)	総合的な健康情報の発信の体制を確立します  第3期「日野げんき！」プラン冊子 P.83～	健康課	健康情報誌「ひのイキ」を定期発行する	100%	100%	年2回発行。テーマは9月15日号「歯とお口の健康」、2月15日号「野菜を食べよう」	概ね順調	フェイスブックを2回/月更新。フォロワー数152(H30.3月)。健康課公認キャラクター「ひのった」に対して「応援しています。」というメッセージも寄せられた。今後も親しみやすい形で健康情報を発信していく。	概ね順調	多様な媒体を活用しての周知啓発は評価できるが、情報発信の効果検証について不足していると思う。	概ね順調	情報発信は大事だが市民の目に留まるような発信の工夫も必要である。行政におけるフェイスブックの運用は、厳しいものがある。やり方を見直すか、他の方法に移行することも検討すべきである。評価しやすいよう目標設定をいくつか加えるなど工夫を要する。	中間アンケートを使って「ひのイキ」「フェイスブック」などの効果検証に取り組む
	子育てサイト「ぼけっとなび」による情報発信を充実する。	100%	100%	「ぼけっとなび」の情報発信実施率 妊娠届出時や新生児訪問時に配布しているチラシの内容を工夫した。乳幼児健診も本サイトでスケジュール管理できるよう機能を追加した。									
	広報、ホームページによる情報発信を工夫する	100%	100%	「ぼけっとなび」の情報発信実施率 広報、ホームページへの工夫 健康課公認キャラクター「ひのった」を使用しながら、市民にとって身近で分かりやすい記事の工夫に取り組んだ									
	メディアによる情報発信を工夫する	100%	100%	フェイスブック運用実施 フェイスブック運用中。フォロワー数152(H30.3月)健康課公認キャラクター「ひのった」を使用しながら、市民にとって身近で分かりやすい情報発信に努めた。									

**大目標4: 住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します  
(地域包括ケアシステムの構築)**

「達成状況の項目」  
 ・達成 : 指標が10割または完全に達成  
 ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる  
 ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる  
 ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要  
 ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

No.	中目標	主管課評価						庁内評価会議		評価推進委員会		今後の取り組み・改善	
		担当課	取り組み内容	H29年度			H29年度		H29年度				
				H29目標	H29実績	実績	達成の評価	達成状況と課題	達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価		指摘事項および課題
(2)	医療と介護の連携を推進します  第3期「日野げんき！」プラン冊子 P85～	高齢福祉課  健康課	1 在宅高齢者療養推進協議会を核とした介護と医療の連携推進と強化をする	—	—	検討部会にて、主に①市主催の勉強会を4回、地域包括支援センター主催の地域別勉強会を16回開催（参加者延べ726人） ②「電子版多職種連携ガイド」に摂食嚥下の対応や介護食の提供に関する情報を新たに追加し、利便性の向上を図った。	順調	国が市に平成29年度までの実施を課した左記の取り組み内容1～4を含む8項目の「在宅医療・介護連携推進事業」については、全ての実施を開始しており、取組みは順調である。  2. 相談窓口の年間対応実績は年度比約800件増。今後も対応件数の更なる増加が見込まれるため、相談窓口体制の再構築の検討が必要である。  4. 病床稼働率は前年度比で30ポイント増となり、日野市立病院と関係機関との連携や事業周知が進んできたと考え。レスパイト入院への対応が今後の課題である。  5. 引続き、がん関連の社会資源の把握に努め、患者支援体制の構築を目指す。	順調	第3期高齢者福祉総合計画も策定されたので、位置づけ・指標についての確認を行ってほしい。時期計画策定時の位置づけなど再検証が必要と思われる	順調	医療と介護の連携を深化させるため、平成30年4月から、市の健康福祉部に「在宅療養支援課」を新たに組織し、現在、在宅療養体制構築のための基本方針を、関係機関と共に策定していることから、今後の展開に期待したい。	本事業は、平成30年4月に組織化される在宅療養支援課に移管となるため、引継ぎ等が漏れなく円滑に行われるよう、両課での事前調整を十分に行うとともに、移管後においても、必要に応じて連携・協力しながら事業展開を進めていく。
			2 在宅療養支援に関する専門相談窓口での対応と在宅療養に関する普及・啓発をする	—	—	日野市立病院内に医療に在宅療養支援に関する「医療」に特化した専門相談窓口を設置 相談窓口の年間対応実績2,090件（前年度比約800件増）							
			3 在宅医療・介護の連携体制の構築、連携拠点の整備をする	—	—	日野市医師会と協議継続							
			4 在宅医療・介護サービスを切れ目なく提供できる体制整備をする	—	—	在宅療養高齢者の病床の急変時等の緊急一時的な受け入れ先として、日野市立病院の病床を2床通年で確保した。 入院者実人数37人、入院延べ日数405日、病床稼働率55.5%(前年比30%増)							
			5 大目標2-(5)がん患者やその家族への支援 患者家族をサポートする体制づくり	—	—	5.患者会との連携にて患者や家族の状況を把握できた。がん患者・家族のサポートに必要な社会資源の把握のため、ホスピスや八王子医療センターがん相談支援室、労基署への視察を行った。							

**大目標4: 住み慣れた地域で生き看取られる暮らしへの支援を充実します  
(地域包括ケアシステムの構築)**

「達成状況の項目」

- ・達成 : 指標が10割または完全に達成
- ・順調 : 指標が8割達成または順調に進んでいる
- ・概ね順調 : 指標が5～6割達成、進んでいる
- ・一部見直し : 指標が4割程度の達成、または一部の修正が必要
- ・全面見直し : 全面的な見直しを要する

※主管課評価、庁内評価、評価推進委員会ともに『中目標』を評価します。

No.	中目標	主管課評価						庁内評価会議			評価推進委員会		今後の取組み・改善
		担当課	取り組み内容	H29年度			H29年度			H29年度			
				H29目標	H29実績	実績	達成の評価	達成状況と課題	達成の評価	指摘事項および課題	達成の評価	指摘事項および課題	
(3)	地域連携による認知症対策を強化します  第3期「日野げんき！」プラン冊子 P	高齢福祉課	認知症サポーターの養成や認知症高齢者徘徊発生時の捜索ツール「靴シール」の導入  「医療連携型認知症カフェ」2及び「認知症初期集中支援チーム」の設置をする	—	—	認知症サポーターの若年層への取り組みは、小学・中学・高校と進んでいるが、今年度は新たに日野高校でも実施することができた。養成H29年度2,436人 今までの延べ人数14,470人  地域連携型認知症疾患医療センターの機能を有する多摩平の森の病院に「認知症初期集中支援チーム」及び「医療連携型認知症カフェ」の機能を新たに整備し、当該病院を認知症支援の総合拠点として位置づけを行う	順調	1. 靴シールの利用者は順調に増えており、実際の徘徊時に装着しているケースやシール装着により発見に至るケースが増えてきている。  2. 多摩平の森の病院に「認知症初期集中支援チーム」及び「医療連携型認知症カフェ」の機能を新たに整備するとともに地域包括支援センター等の関係機関との連携を一層図ることで、認知症の支援体制を強化することができた。関係機関との継続的な意見交換の場を設け、課題の洗い出しや効果的な事業展開の手法について、協議・検討していく必要がある。	順調	施策推進にあたっては粘り強い啓発や情報発信と官民間わず顔の見える連携体制構築のための取組がとられてきたことが評価できる。連携が進んでいる。継続して進めてほしい。	順調	認知症サポーターは確実に増えていると実感している。オレンジリングも見かけるようになっている。連携の大切さを感じるため、引き続き支援体制を固めてほしい。	認知症サポーター養成講座は、受講対象者の範囲を拡大していくとともに、講座修了者が活躍できる機会や場の創出についても一体的な取組として実施していく。多摩平の森の病院（認知症支援の総合拠点）を中心とする関係機関との連携を一層強化し、一体的かつ効果的な認知症の支援体制の構築を目指していく。